

トライアスロン中、63歳死亡

佐渡国際大会

3日午前7時すぎ、新潟県佐渡市河原田本町の佐和田海水浴場で、「2006佐渡国際トライアスロン大会」の参加者が、水泳のスタート地点から約350メートルの水深約4メートルの海面で、うつぶ

せに浮いているのを大会関係者が見つけた。病院に運んだが、まもなく死亡が確認された。心臓性の突然死と見られる。

佐渡西署などによると、亡くなったのは仙台市青葉区の無職庄子幹雄さん(63)。庄子さんは水泳2キロ、自転車105キロ、ランニング20キロを続けて行う競技に出場していたという。

大会実行委員会によると、同大会は毎年、トップから一般の選手まで1

3000人程度が参加。近年は60歳以上の参加者も増え、今大会に出場した1482人の最高齢は男女とも75歳だった。

トライアスロン 水泳中63歳死亡

佐渡、スタート直後

三日午前七時ごろ、新潟県佐渡市の佐和田海水浴場で、「2006佐渡国際トライアスロン大会」に参加していた仙台市青葉区吉成二、無職、庄子幹雄さん(63)が、スタート地点から約三百五十メートルの海上に浮いているのを大会関係者が発

見、病院に搬送したが、間もなく死亡した。

佐渡西署は、心臓疾患の可能性が高いとみている。

大会事務局によると、庄子さんは水泳、自転車、ランニングの計百二十七キロの部門に参加、スタートした直後だった。参加者には健康診断のコピー提出を求めているが、庄子さんは特に異常はなかったという。